

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490200035	事業の開始年月日	平成18年7月1日	
		指定年月日	平成18年7月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家横浜羽沢2			
所在地	(221-0863)			
	神奈川県横浜市神奈川区羽沢町990-8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成26年11月5日	評価結果 市町村受理日	平成27年2月27日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/IDetails.aspx?IGNO=ST1490200035&SVCD=320&THNO=14100
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周りを見渡すと畑があり、遠くには富士山が見える高台にホームがあります。近くにある神社は散歩コースに入っており、桜や初詣など季節を感じながら楽しんでいます。近隣の方々と懇談会や近くの小学生との交流会などを定期的に行っており、特に子供たちとの交流は、ご利用様がとても楽しみにされていて、最後まで笑顔や感激の涙が絶えません。「その人らしくを支援します」を理念に掲げ、お一人お一人の意向を大事に笑顔がいっぱいのホームになるよう支援しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年12月9日	評価機関 評価決定日	平成27年2月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、横浜駅西口からバスで20分の「羽沢団地前」バス停下車徒歩1分のバス通り沿いにあります。周りには団地が立ち並んでいますが、事業所の裏手には戸建て住宅や畑、史跡などがあり、のどかな風景になっています。事業所のリビングの窓からは正面に富士山が見られます。

<優れている点>

事業所では、イベントの後に行う地域懇談会の開催により、地域住民との交流の輪が広がっています。年2回の防災訓練の時にも、地域懇談会で知り合った人が参加し、利用者の見守り等の協力を得ています。防災対策の面からも近隣住民の協力体制が整っていることは利点となっています。近くの小学校の4年生とも交流があります。小学生が事業所に来訪して歌や踊りを披露したり、利用者と話をしてもらっています。小学校の招待で、利用者が小学校に行くこともあり、利用者の喜びとなっています。また、事業所の全体会議やフロア会議は、常勤や非常勤にかかわらず全員参加となっており、情報が共有され、職員のレベルアップに繋がっています。

<工夫点>

会議等でいくら話し合っても机上論になってしまうこともあり、「とりあえずやってみよう」が職員の合言葉となっています。まずはやってみて、良ければそのまま継続し、悪ければさらに改良するとの考えにより次に繋げて行っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家横浜羽沢 2
ユニット名	1 ユニット

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事務所内に理念を貼り、会議等で唱和し共有できるようにし、実践に繋がっています。	法人及び事業所の理念を各ユニットの事務所に掲示し、非常勤も出席する全体会議やフロア会議で唱和しています。職員は、申し送り帳などで利用者一人ひとりの状況を相互確認し、理念で掲げている、「その人らしく」に沿って支援しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入している。近隣の小学生と定期的に交流会を開いたり、地域懇談会を行うなどして交流に努めています。	近隣の小学四年生が定期的に来訪し歌や踊りを披露し、小学校の発表会には利用者が見学に行き交流を深めています。年4回地域懇談会では、事業所の行事への参加や口腔体操・認知症の講習で地域と交流しています。自治会の行事見学や中学生との交流もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議・地域懇談会・避難訓練等でいろいろな情報を提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催しています。現在のホームの状況等報告し、アドバイスを頂き実践に活かしています。	運営推進会議は同じ自治会に所属する同一法人の3事業所が合同で2ヶ月に1回開催しています。議題は、各事業所の活動状況や自治会の行事案内、地域包括支援センターからの助言などです。嚥下予防の助言を受け、嚥下体操を継続できる様工夫をしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	保護課の担当者との連絡、地域振興課の担当者とのボランティアについての相談等を行っています。	生活保護を受けている利用者の状況報告などで、神奈川区役所保護課と連携を密にしています。地域振興課にボランティアの紹介を依頼し、ボランティアと共に地域振興課職員も来訪し、交流の実態を把握しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	安全対策委員会で研修したり、身体拘束委員会でホームでの拘束が無い事の確認をしたりして、拘束をしないケアを職員全体で取り組んでいます。	運営法人で毎月1回開催の身体拘束禁止も含めた安全対策委員会に、事業所代表者（非常勤職員含）が参加し、結果を事業所の全体会議や身体拘束委員会で全職員に伝えています。職員の質問から、立ち上がりセンサーの使用可否の判断を法人内で統一しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	安全対策委員会で研修したり、会議等で学ぶ機会を作り、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	会議や研修等で学んだ事を、全体会議で発表し共有できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に契約書の見本をお渡しして、十分に読む機会を持ってもらい、入居時には読み合わせをしながら確認して頂いています。入居時に限らず疑問や不安な点があった場合は随時対応して安心して頂ける様にしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様には、ご意見箱設置・運営推進会議・家族会等で意見を頂いています。ご利用者様には毎日の傾聴で何を望んでいるか知る事により、毎日のケアに繋げています。	運営推進会議と家族会、ご意見箱や面会時に家族の意見や要望を聞き、議事録や申し送り帳や生活記録に記載し日々の介護に反映しています。職員は、利用者との傾聴から、何を望んでいるかを汲み取り、その人らしく生活出来るよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の全体会議・各フロア会議・カンファレンス等で意見を聞く機会を設けています。	毎月の全体会議やフロア会議、カンファレンスなどの会議は、非常勤職員も参加して、様々な意見や提案を聞く機会を設けています。次年度の事業所理念見直しに向けて、全職員が参加して議論しています。ホーム長は日頃から職員の意見を傾聴しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課で各自の目標や不満足などを確認し、毎日職員への声掛けにより状況把握に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内外の研修に参加できるよう研修の機会を設けています。学んだ研修内容は会議の場で発表して頂き、共有することでケアの質向上を目指しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	横浜市高齢者グループホーム連絡会・羽沢地区高齢者グループホーム連絡会などに参加し、交流する機会を作りサービスの質の向上につなげています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前・入居時・入居後とご本人様と話し合う機会をもち、入居後は特に困っている事・不安に感じている事・要望などをお聞きして、信頼関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前からお話し合いを重ね、何を必要とされているか考慮し、信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前の面談で、ご意向・ご希望・何を不安と感じているかを話し合い、ご希望があれば他のサービスも説明し利用して頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事等のお手伝いをされたい方には、食器拭き・テーブル拭き・洗濯物たたみ・シーツ交換のお手伝い等をして頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	介護拒否の強い利用者様の入浴介助・爪切り等をご家族様の協力を仰いで行っています。一言通信で毎月ご様子をお知らせして、面会の機会の少ないご家族様にもホームでの様子が分かるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご希望があれば、お手紙や電話の取り次ぎをしています。	入居時に本人や家族から生活歴などのアセスメントで馴染みの人や場所を把握しています。家族と墓参りに出かける利用者もいます。利用者は、地域懇談会参加者や訪問理美容者、小学生などが馴染みとなっており、会う機会を楽しみにしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーション等を通して他の利用者様と良い関係が持てるようにしています。フロアでの席を時々替え、トラブルにならない様に様子を見ながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もお手紙で、ご相談があればいつでもご連絡下さいとお伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	直接ご本人からご意向をお聞きしたり、毎日の傾聴の中から情報を集め把握に努めています。困難な場合は、傾聴の中から感じ取り、ご家族様と相談して検討しています。	利用者の思いや希望を毎日の傾聴の中から把握しています。歌が好きな人や踊りが好きな人、大声が嫌いな人もいます。それぞれの思いを大切に、家族と相談して一人ひとりに合わせた活動を取り入れ、利用者それぞれが楽しめる工夫をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談時情報を得ています。入居後も随時ご家族様の面会時等に情報を得られるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録・バイタルチェック表・排泄チェック表・申し送り表を活用しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的なカンファレンス・モニタリング・アセスメントを行っています。ご家族様からも定期的にご意向を伺い、介護計画に反映しています。	日々の申し送り帳や生活記録、連絡帳などで利用者一人ひとりの生活状況を、職員は情報共有しています。これらの情報を用いて定期的カンファレンス、モニタリング、アセスメント会議を行い、家族の意向も踏まえた介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の気付き等は申し送り表・連絡帳を利用し情報の共有に努めています。又各時間帯での申し送りが活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	訪問医療・薬局・マッサージ等のサービスをご希望に応じて提供しています。どのようなお役にたてるか、ご家族様と必要に応じて話し合っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議等から自治会や地域の情報を得て活用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時にご本人及びご家族様からの同意を得て、事業所の協力医がかかりつけ医となり月2回の訪問診療と随時相談を受けられています。	24時間いつでも相談可能で安心が得られる事業所の協力医療機関を主治医としています。家族の協力のもと、以前からのかかりつけ医を継続する人や皮膚科の往診を受ける人もいます。歯科医の往診や歯科衛生士による口腔ケアもあり適切な医療が受けられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携看護師が週に1回訪問し健康管理をしています。日々の情報を看護師に伝え連携を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中はお見舞いに伺い、状態を把握しています。入退院時は、医療機関やご家族様と連絡を取り情報交換・共有しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重要事項説明書の重度化指針を基に、ご家族様へ説明しています。重度化した時にどうするか、ホームでの出来る事・出来ない事を説明しています。	重度化した場合には、家族や医師、事業所職員で話し合いをしています。利用者や家族が望む生活が可能となるように、幅広く検討し選択が出来るように対応しています。数名の看取り経験があり、職員は研修や勉強会などで研鑽を積んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを基に、緊急連絡網を設置し緊急時の対応に備えています。又避難訓練時に消防職員より心肺蘇生等の訓練を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回、菅田消防署のご指導で地域の方も参加され避難訓練をしています。又羽沢地区グループホーム連絡会・消防署・自治会とで「消防応援協力に関する覚書」を締結しています。	年2回消防署立会のもと、避難訓練を行っています。地域懇談会で知り合った地域の方も参加し、利用者の見守りをしてもらうなど協力体制が出来ています。防災ずきんや非常持ち出し袋など準備をしています。	水やお米などは十分な用意がありますが、缶詰など食糧の備蓄のさらなる充実も期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の申し送りや会議等で「声掛け」「プライバシー」の重要性を共有しています。	利用者のプライドを傷つけないように常に意識した声かけをしています。職員は自分がされて嫌なことは利用者にもしないことを確認しています。居室のドアの小窓は目隠しをしています。個人ファイルはカギの掛かる書庫に入れています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	傾聴・会話の機会を利用し、ご本人の希望をお聞きして情報を共有しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その都度声掛けしご意向を伺い、ご希望に添えるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容を利用されたり、着たいものをご自身で選んで頂いています。お化粧されている利用者様には、お化粧ができるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒にテーブルを拭いたり、食器拭きをしたり、お盆拭きをしたりしています。	法人の管理栄養士が作成した献立を、調理専門の職員が作っています。時には食事を弁当箱に詰めたり、おやつのお菓子を懐紙にのせたりと、味わい方を変化させて楽しんでいます。月1回のパンの移動販売や出前は利用者の楽しみになっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	チェック表を利用し、食事や水分の摂取量を把握しています。食事のメニューは管理栄養士が作り、栄養バランスを取っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後声掛けし口腔ケアを促しており、必用に応じて職員が介助しています。毎週歯科衛生士が訪問し口腔ケアのチェック・指導を行い、月2回訪問歯科の診療を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を利用し、排泄パターンの把握に役立てています。時間を見てトイレの声掛け・誘導を行っています。	利用者一人ひとりの排泄チェック表を基に排泄パターンを把握しています。さらに利用者の動きなど排泄のサインを見逃さずに適切に声をかけてトイレ誘導をしています。声掛け誘導により、おむつからリハビリパンツへと改善した利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操・マッサージ・乳酸菌飲料・医師と相談し薬の使用等行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご意向を伺い、体調に考慮して支援しています。入浴拒否の強いご利用者様には、ご家族様のご協力を仰いでいます。	一階はリフト浴の設備があり介護度の高い利用者も安心して入浴が出来ます。拒否をする利用者には職員が場所や時間、声掛けを変えるなど工夫して入浴に繋げています。入浴時は職員にとって利用者と向き合って話が出来ると大切な時間ととらえています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お好きな時間に休まれています。フロアでTVを見てる方、居室で本を読まれている方、それぞれにお過ごしです。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	月2回の薬剤師による薬の説明・目的・副作用等の説明を受け、各利用者様の様子を薬剤師に報告し症状の変化の確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	歌や踊りなど昔からお好きだったものをおかけし楽しんで頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調や天候を考慮しながら、散歩にお誘いしています。お墓参りなどご家族との外出・外泊など支援しています。	日頃から近くの神社や史跡、畑などへ散歩に出かけています。庭のベンチで外気浴をすることもあります。近くのビニールハウスに花を見に行ったり、事業所のオーナーの農園ではみかん狩りを楽しんでいます。	散歩や外出支援は行われていますが、もう少し散歩の頻度を上げられる取組の工夫も期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご希望がある方には、近隣での買い物等を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	お手紙や電話の取り次ぎなどの支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	折り紙や塗り絵・切り絵などで、フロアに季節感が出るような飾り付けを職員と一緒にしています。またご利用者様の動線上に物を置かない等の支援をし転倒のリスクを下げるようにしています。	リビングは明るく清潔で、大きな窓からは富士山が見えます。交流のある小学生の手紙などが飾られ温かみを感じられます。事務所の窓がカフェのような飾り付けで利用者を楽しませています。利用者は自然と居心地のいいリビングに集まって来ています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	仲の良い利用者様同士でゆっくりお話しできるよう、居室を利用したりしています。トラブルが起きない様席順を替えたりして危険防止に注意しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者が馴染んでいる物を、入居時に持って来て頂いたり、アルバムなどで昔話に花が咲いたり、懐かしんだりされています。	ベッドやタンス、クローゼットや洗面台などが備え付けられ、転倒予防のためにクッションフロアが敷いてある部屋もあります。利用者はテレビや仏壇、三面鏡や家族の写真など、使い慣れたものを持ち込み、その人らしく暮らしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自分のお部屋・トイレなどの場所がすぐ分かるよう、大きな文字で案内やお名前を貼ったりしています。		

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490200035	事業の開始年月日	平成18年7月1日
		指定年月日	平成18年7月1日
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家横浜羽沢2		
所在地	(221-0863) 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町990-8		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成26年11月5日	評価結果 市町村受理日	平成27年2月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/IDetails.aspx?IGNO=ST1490200035&SVCD=320&THNO=14100>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

服薬事故や口腔ケアを徹底し健康管理を行い、ご利用者様が安心・安全な毎日が過ごせるよう支援しています。又日々のレクリエーションやご希望に沿った散歩の実施等で、ご利用者様に喜んで頂き楽しい生活を提供できるよう支援しています。防災訓練や地域懇談会・近隣の小学生との交流会等、地域の方々のご理解・ご協力・ご支援をこれからも大事にして参ります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年12月9日	評価機関 評価決定日	平成27年2月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家横浜羽沢 2
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎月、全体会議を行い、理念の確認を行っています。申し送り等で情報の共有を徹底し、実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	イベントでは近隣の方々と交流を図り、2か月に1回地域懇談会を開催しており、又小学校の行事として、小学生の訪問を受けています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2か月に1度の地域懇談会、家族会等で情報を伝え、意見交換の場として活かしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度、町内会・包括支援センター・民生委員・ご家族様等報告、話し合いをしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	包括支援センター消防署と連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	2か月に1回の安全対策委員会に出席して、学んだ内容を会議の場で伝え共有し、意見交換や確認を行い、身体拘束をしないケアを実践に取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月の全体会議、各ユニット会議等で意見交換、情報の共有、報告・連絡・相談し、毎日のケアを行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	会議や研修等で学んだ事を共有し、活用しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、入居前に説明し、納得して頂いてから同意を頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見BOXを設け意見を頂いたり、家族会や運営推進会議等で意見や要望を伺い、対応し運営に反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議・全体会議・個別面談等を通し、職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課で目標や不満・不安点を確認し、人事担当者と連携しながら行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修案内を伝え、参加を促し参加した職員から会議の場で研修内容の報告を共有しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	横浜市・羽沢地区高齢者グループホーム連絡会に加入しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前より情報を共有して信頼関係を築ける様に対応し、カンファレンスを行い、様子観察をしながら傾聴に努め、安心して過ごせるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様からの要望や不安等を伺い、ご本人様にとって一番良い方向性・関係性を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前に必要な情報の把握に努め、御本人・ご家族様の要望に応じる様、必要とされているサービスの内容を考慮し、見極めて対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々、自立支援を心がけ、快適に生活して頂く環境作りを実践し、不安なく過ごして頂ける様関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族会・毎月の一言通信で日々の様子を伝え、面会時には要望や希望を伺い支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご家族様との面会、電話・手紙・外出等、柔軟に対応できる様支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の会話・散歩・レクリエーションを通して、利用者様が関わり合える支援、出来る限りストレスをためない様支援をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了1か月後も手紙で連絡し、相談の窓口がいつでもある事を伝えています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の希望・意向を伺い、ご家族様にも意向を伺い情報を共有し対応しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人様、ご家族様から情報を頂き把握し共有に努め、サービスの向上に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の申し送り、生活記録等にて情報を把握し、共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的にあセスメント・カンファレンス・モニタリングを行い、介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は生活記録に残し、気づきがあれば申し送りにて情報共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	訪問美容・マッサージ・医療関係などのサービスを、ご希望に応じて提供しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域・町内行事など情報を頂き、祭り・運動会等季節ごとのイベント見学・参加をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の往診、その他適切な医療が受けられるように相談も受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週、医療連携看護師が来訪し、健康管理・相談等を行い情報を共有し支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	特に入院時は病院との連絡を密にし、出来るだけ早期退院が出来るように情報を提供しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入院時や終末期ケア時は、ご家族様に説明し、ご理解して頂ける様に対応しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応マニュアル、連絡網を備え、医師の指示の元対応しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防との連携の下、避難訓練を行い、協力体制を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣い、言動に注意し、優しい声掛けを心がけ、個々の性格や状態を見極め把握し対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話をする機会を作り、ご本人様の希望・意見を聞き、尊重できる様支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2か月に1度の地域懇談会、家族会等で情報を伝え、意見交換の場として活かしています。訪問美容を利用したり、その日に着たい洋服を一緒に選んだり、お化粧されたりと支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	自立支援の一環として、食器拭き・テーブル拭き等のお手伝いをして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事のメニューは管理栄養士が管理し、食事量・水分量は記録に残してここに対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、自力にてケアできる方は見守り対応し、困難な方には介助し対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記録しながら、排泄時間や排便の有無を把握し、個々に時間を確認しながら声掛け・誘導を行う支援をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表を確認し、医師の相談しながら、コントロールをして対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	その日の体調やご希望により対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の生活習慣を大事にし、その日の体調により、午後の休息を取って頂いたり、状況により対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師による説明を受け、投薬時職員二人体制で管理し、緊急時は医師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクレーション・季節毎の行事等、支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別ケアにて外出・散歩の支援をしたり、希望に沿った支援をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	月に一度、パンの移動販売で好きなパンを購入して頂き対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時にはホームの電話を使用して頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアの飾り付け等、季節感を出すよう努めている。共有空間は不快な思いをさせないよう、毎日の掃除を行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアのテーブル席を時には替えたり、皆様に会話を楽しんで頂き、トラブルを避ける意味でも行っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様と相談の上、使い慣れた物を使用し支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	混乱させない様に、ドア・浴室等に大きな文字で案内を貼り、不安にならない様に支援しています。		

平成26年度

目標達成計画

事業所名 グループホームみんなの家横浜羽沢 2

作成日： 平成 27年 2月 23日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4950	お散歩などの外出機会が少なく外での買い物できていない。	希望される入居者様と定期的に近くの小さいお店（お菓子やパンなど売っている）でお買い物をする。	<ul style="list-style-type: none">・日中、日勤がいる日は天候、体調をみてお散歩に誘っていく。・ご家族に了承を得てお買い物ものに行く。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月